

(株)えふえむ草津 第18回放送番組審議会議事録

I 日時 平成24年9月27日(木) 18時～19時25分

II 場所 草津夢本陣(えふえむ草津 本社横)

III 出席状況 委員総数 5名
出席委員 5名

出席委員(敬称略) 我孫子 卓哉
長 源一
日下 晃郎
澤 孝子
鶴田 真理子

当社出席者 代表取締役 野添 勝
放送局長 勇 竹廣

IV 議事および審議の概要

(1) 野添代表取締役より挨拶および近況報告

お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

よろしくご審議のほどお願いします。

前回からの活動について、

- ・9月1日に防災ラジオ滋賀として、県内ラジオ5局(当社・NHK大津・FM滋賀・彦根FM・FM東近江)が2時間の生放送を行った。これは防災時の対応に備えて連携を深めること、防災やラジオの役割について考える、事などを目的に行ったものです。
- ・9月から新しく営業担当を雇用し、精力的に営業活動を進めている。
- ・9月12日にJ-ALERTの全国一斉試験放送が実施され、草津市は当社の割込み放送を使って実施しました。当社側の問題ではなかったが音声は少し小さいという課題が残り、草津市で調査している。調査後もう一度草津市独自で試験をすることになっている。
- ・PC(中古)を2台購入し、収録・編集を簡易に、またCDなどへの書き出しは従来の5分の1程度の時間で出来るように改善した。
- ・9月から新しく2名のミキサー養成を行っている。

- ・従来1名しか出来なかった自動放送のプログラムについて、9月から2名体制で行えるようにした。
- ・など、従来殆ど取組めていなかった事項について、少しずつですが8月以降取組んでいる。

(2) 番組の審議

9月24日(月)の“イブロケ 785”の録音を聴いていただいた後、番組の審議に入った。(パーソナリティー 久保 ディレクター 國松)

委員より次の質問や意見があった。

- ①パーソナリティーの英語の発音がすごく美しかったのもっと英語を活かした番組構成を考えたらと思う。英語を全面的に押し出して、外国人向けのコーナーなど、もっと彼女しかできない番組にすれば良いのではと思う。
また、洋楽を良く知っておられるようなので、邦楽はかけずに、この番組は洋楽だけにするのも特徴になるのでは。
- ②パーソナリティーのトーク内容に細かく注意することはあまり必要ないのではないか？
- ③お喋りやテンポは上手なので、もう少し明るさが表に出ればさらに良くなるのではと思う。
- ④意思疎通のためパーソナリティーとは出来るだけ話すことを心掛けてほしい。
- ⑤この番組ではないが、朝はお天気が最初にあり、その後朝の番組のオープニングが始まる。天気予報が番組の外にあり、何となく不自然に思える。番組内に移動してはどうか。
- ⑥メールテーマの話題をトーク1にすべき。メールテーマは出来るだけ早く言った方が良くと思う。
- ⑦スタッフの話題を言うのは否でないと思うので、スタッフと中途半端な表現でなく名前やニックネームも言えどどうか？ 内輪話しにならない程度に名前を出すことによって、スタッフを含めた番組になる。またスタジオの模様や雰囲気がラジオから見えるようになるのではと思う。

これらの質問に対してえふえむ草津から

- ①番組を担当した当初からみると少しずつ英語を使ってる時間は増えているが、さらに活かせるよう相談します。洋楽が大変好きで良く知っているので、そのことさらに生かすことも考えてみます。
- ②番組エンディング後にディレクターと簡単な反省会を行っていて、トーク内容などについて意見交換をしている。また、トーク内容などで特に気になった事があれば反省会以外でも意見交換するよう心掛けている。

- ③日頃は随分明るい性格で笑顔一杯の方なのですが、本番ではどうしても緊張で少し硬くなってしまうようです。
- ④パーソナリティーは基本2週間に1回しか来社しないので難しい事もあるが、出来る限り意思疎通を図るように努めます。
- ⑤夕方の天気は番組途中の6時はじめです。朝についても考えてみます。
- ⑥出来るだけ早く言うように心がけます。
- ⑦名前を出すか出さないかは、内容や節度によると思います。
身近なコミュニティ放送としては節度を持ちながら名前を出すべきだと考えています。

(3) 前回開催の番組審議会での改善意見、質問に対する措置事項
別紙により説明

(4) 訂正または取消し放送の実施状況

前回審議会（平成24年3月27日）から本日まで、訂正または取消し放送はなし。

(5) その他

- ・立命館大学放送局とのコラボで、11月5日から立命館大学放送局制作の若者向け新番組を放送する予定で進めています。
- ・2013年年明けには、カラー印刷でタイムテーブルを5000部制作し、エリア内に設置、配布出来るよう10月から営業活動を始めます。

V 議事録の公表方法

- ・当社玄関カウンターに備置（10月8日から）
- ・当社ホームページに掲載（10月8日から）
- ・番組「番組審議会の内容」を放送（10月12日（金） 19時から）

VI 次回の開催予定

- ・平成24年11月29日（木）18時から の予定

(別紙 第18回審)

前回開催の番組審議会での改善意見、質問に対する措置事項

8月27日(月)の“ネタあさ 785”の録音を聴いていただいた後、番組の審議をいただいたものです。

委員よりの質問や意見

- ①オープニングトークの「イナズマロックフェス 2012 直前ビデオコンサート in みずの森」を初開催と言われたが、2回目だと思うが?
- ②またトーク②で夏休みが残り1週間と言われたが、草津市内の小・中学校は27日から既に2学期が始まっている。
- ③これらの情報提供は、局側が行っているのか、それともパーソナリティーが自分で調べているのか?
- ④直前の指示では裏取りが出来ないので、事前の指示を徹底してほしい。
- ⑤番組がワンパターン化しているので、変化のある内容にしては?
- ⑥番組内容を外へ広げよ。レポーターを取り入れたのであれば、もっと大きく変革した放送を目指してほしい。
- ⑦今まで改革が出来なかったが、代表およびディレクターも変わり、新たにレポーターも導入していただいたので、今後はより身近な番組作りに努力してほしい。

えふえむ草津からの回答

- ①イナズマロックフェス 2012 直前ビデオコンサート in みずの森」の資料はこちら側で用意した。今回が何回目かについては未記載なのに、パーソナリティーが思い込みで喋っている。
- ②パーソナリティーは草津市住民でないので、草津市の小・中学校は、2学期が1週間早く始まっている事を知らないまま喋っている。
- ①②各種情報は、確認をとってから話すようにしてほしい旨指示しているが、まだまだ不十分であり今後さらに徹底したい。
- ③局側で用意したものもあれば、自身で調べているものもある。
- ④パーソナリティーは2週間に1回しか来社しないので、恒常的に事前指示が難しいが、出来る限りするように努める。
- ⑤7月21日にパーソナリティー他全員を集め、今後の局や番組や変革の大まかな方向についてミーティングを行った。
- ⑥今後、レポートや収録や編集の教育訓練を行い、外へ出かけることに努めて行きたい。
- ⑦3年余間の番組制作への考え方はパーソナリティーに浸透していて、それを大き

く変革することには時間を要するか、もう一度開局当時のステーションコンセプトに原点回帰して、より身近な市民ラジオ局を目指していきたい。

なお、①②については、後日直接本人に説明した。